

R3年2月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
2月15日	2月20日	6日	肺炎	Kt : 39.6℃ インフルエンザ ⁺ テスト 陰性 湿性咳嗽 (+) 倦怠感 (+) Dr聴診にて肺炎の診断 抗生剤6日分投与 100mgノルフロキサシン3T/日 解熱剤アセトアミノフェン (0.4) 頓用orジクロフェナク(50) SP1ヶ挿肛指示 KT37℃後半~38℃以上の発熱 続いている為2/20胸部X-P検査施行。読影結果：重度の肺炎の為Drより病院対応の指示 にて家族了承の上、同日市民病院ER救急搬送入院加療となる
2月20日	2月24日	5日	肺炎	Kt : 39.1℃ Dr聴診にて肺炎の診断 両大腿部痛 (+) 倦怠感 (+) インフルエンザ ⁺ テスト (陰性) 抗生剤5日分投与 クラリスロマイシン (200) 2T/日 解熱剤アセトアミノフェン (0.4) 頓用
2月14日	2月20日	7日	肺炎	KT 39.5℃ Dr聴診にて肺ラ音 (+) 肺炎との診断 抗生剤7日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/日 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 2/15インフルエンザ ⁺ 検査 (陰性) 経過観察へ
2月21日	2月25日	5日	肺炎	KT37.6℃ 咳嗽(+) Dr聴診にて肺炎との診断 抗生剤・鎮咳剤5日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/日 レスプロレン(20)3T/日
2月21日	2月25日	5日	肺炎	KT38.2℃ 食思不振 Dr聴診にて肺炎の診断 抗生剤5日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/日 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用
2月16日	2月19日	4日	肺炎	KT38.0℃ 末梢冷汗あり Spo2 74% 酸素2ℓにて吸入開始 Dr聴診 肺雑 (+) 胸水貯留疑い、肺炎の診断 抗生剤4日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/日 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 2/16インフルエンザ ⁺ 検査 (陰性)

R3年3月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
3月28日	3月31日	4日	肺炎	KT38.3℃ 左肺雑 (+) インフルエンザ簡易検査 (陰性) SPo2 83~85% 約束処方抗生剤解熱剤投与 ノルフロキサシ (100) 3T 4日分 解熱剤アセトアミノフェン (0.4) 頓用 3/30 Dr.診察聴診にて
3月22日	3月24日	3日	尿路感染症	KT38.3℃ 検尿施行 亜硝酸 (+) 白血球 (+) 尿蛋白 (2+) Dr診察尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T / 日 解熱剤アセトアミノフェン 0.4g 頓用
3月25日	3月29日	5日	尿路感染症	KT38.5℃ 検尿施行 亜硝酸 (2+) 白血球 (—) 尿蛋白 (+) Dr診察尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T / 日 解熱剤アセトアミノフェン 0.4g 頓用

R3年4月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
4月4日	4月8日	5日	尿路感染症	KT36.7℃前後 検尿：N(-)P(2+)H(2+)L(2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 ノルフロキサシ(100)3T 3×1 5T 経過観察へ
4月1日	4月3日	3日	尿路感染症	KT38.7℃の発熱 痰がらみあり 適時吸引施行 Dr聴診にて呼吸音・心音問題なし 検尿亜硝酸(2+)尿蛋白(±) 白血球(2+)にて 尿路感染症の診断。 抗生剤3日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 3日間 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
4月1日	4月7日	7日	帯状疱疹	4月1日より、右頭部の発疹、右眼周囲発赤出現。頭部疼痛あり 4月2日Dr診察 帯状疱疹の診断。抗ウイルス剤内服処方 アシクロビル(400)1錠/日7日間投与。局所にビダラビン軟膏塗布 経過観察へ
4月3日	4月9日	7日	尿路感染症	本人より血尿の訴えあり 検尿：亜硝酸(-)蛋白(+)潜血(3+) 白血球(+) 淡々血清尿、 発熱症状や排尿時痛なし Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤7日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 止血剤、鎮痙剤3日間投与 トランサミン(250)3T/3×1 ブチルスコラミン 3T/3×1
4月9日	4月15日	7日	肺炎	眩暈あり 酸素飽和度67% 酸素吸入開始持続 0.5~30分 BP150/80 KT36.9℃ Dr聴診右肺の呼吸音やや弱い 胸部X-P施行し右肺に軽度の炎症像あり 肺炎の診断 抗生剤5日間投与 クラリスロマイシン(200)2T/2×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ

R3年5月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
5月14日	5月20日	7日	尿路感染症	KT37.4℃ 尿混濁 検尿 亜硝酸 (-) ケトン (+) 蛋白 (2+) 潜血 (+) 白血球 (2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤内服投与 ノルフロキサシ (100) 3T/日 経過観察へ
5月12日	5月16日	5日	肺炎	体温39.0℃ Dr診察聴診にて肺炎の診断 抗生剤投与 クラリスロマイシン (200) 2錠2×1 5日間投与、 解熱剤アセトアミノフェン0.4g投与 血圧96-54 脈拍89回/分 酸素飽和度97% 経過観察へ。
5月13日	5月22日	7日	肺炎	体温38.1℃ 検尿にて亜硝酸 (-) 尿蛋白 (±) 白血球 (2+) Dr診察聴診にて肺炎の診断 抗生剤投与 クラリスロマイシン (200) 2錠2×1 5日間投与、 解熱剤アセトアミノフェン0.4g投与 血圧98-47 脈拍74回/分 酸素飽和度96% 5/18日体温39.3℃ Dr診察し 再度クラリスロマイシン (200) 2錠2×1 5日間追加処方。経過観察へ。
5月4日	5月11日	7日	蜂窩織炎	右足第2趾、発赤・腫脹・熱感 疼痛あり。Dr診察 レントゲン検査：骨折所見なし。 右足蜂窩織炎の診断。排膿処置 抗生剤軟膏塗布ガーゼ保護 抗生剤内服処方 ノルフロキサシ (100) 3錠3×1 8日間投与。 疼痛時アセトアミノフェン 0.4g屯服投与

R3年6月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
6月2日	6月6日	5日	尿路感染症	肉眼的血尿 (+) 検尿N(-) P(+) H (3+) L(+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤。止血剤内服投与5日分 Rp) ノルフロキサシン (100) 3T/日 トランサミン (250) 3T/日 経過観察へ
6月7日	6月11日	5日	尿路感染症	KT38.4℃ 頭痛症状あり 検尿N(+)P (-) H(-)H(-)L(-) 下腹部違和感あり Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤内服投与5日分 Rp) ノルフロキサシン (100) 3T/日 経過観察へ

R3年7月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
7月1日	7月5日	5日	尿路感染症	KT36.3℃ 尿混濁あり 検尿 亜硝酸 (+) 蛋白 (+) 潜血 (+) 白血球 (2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤内服5日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/日 経過観察へ
7月3日	7月7日	5日	尿路感染症	KT37.6℃ 尿混濁あり 検尿 亜硝酸 (2+) 蛋白 (2+) 白血球 (2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤内服5日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/日 経過観察へ
7月5日	7月10日	6日	肺炎	体温38.1℃ Dr診察聴診にて左呼吸音聴取 しづらい為 胸部X-P施行 両肺機能の低下あり。 肺炎との診断 抗生剤6日間投与 クラリスロマイシン (200) 2錠2×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g投与 血圧141-82 脈拍72回/分 酸素飽和度89% 経過観察へ。